

地域との交流活動（2008年春学期）

1. 恵泉幼子の家（保育園）の園児との交流

日時：2008年6月2日（月）& 6月6日（金）

場所：恵泉幼子の家（保育園）

参加者：共通教育の留学生 17名

（カナダ、台湾、中国、フランス、ドイツ、韓国、ペルー、イギリス）

日本語研修コース（第20期）11名

（スリランカ、パラオ、ネパール、ベトナム、中国、アルゼンチン、インドネシア、バングラデシュ）



交流会の内容：絵本の読み聞かせ、折り紙・竹馬等の日本の遊び、歌と踊りなど。

2. 小禄中学校一年生との国際交流会

日時：2008年6月6日（金）14:00～16:00

場所：小禄中学校

参加者：具志川中学校3年生および本学の留学生 12名、他校の留学生 4名。

交流会の内容：

- ・1年生8クラスに、それぞれ2名の留学生が招かれ、90分前後を交流に充てた。
- ・企画やパフォーマンスなどを各クラスで準備し、中学生自身が進行役になった。
- ・留学生が自分の国の文化や簡単な言葉などを中学生に教えた。
- ・中学生と留学生と一緒にゲームをした。

引率者のコメント：

これまでありがちだった「外国人を相手に、英語を使わせたい」という企画ではなく、中学生の自主性に任せた取り組みだった。活動内容や机の配置などにクラスごとの個性が見られたし、「やらされている交流」ではなく、「手作りの交流」を実現できていると感じられた。

留学生がそれぞれの教室に入ってから、教員は廊下から見守る役目だった。あれこれ指図しなかったことが、少しずつ打ち解けることができた秘訣のように見えた。それぞれのクラスで心のこもった対応をしてもらい、参加した留学生たちはたいへん感動していた。



この交流会に参加した12名は共通教育の「日本事情」を受講している留学生たちであり、日本語だけで意思疎通できたということも、スムーズに交流できた要因であろう。

3．恩納村立安富祖中学校との交流会

日時：2008年6月20日（金）

場所：恩納村立安富祖中学校

参加者：1～3年生（中学校全体）と日本語研修コース（第20期）11名（スリランカ、パラオ、ネパール、ベトナム、中国、アルゼンチン、インドネシア、バングラデシュ）

交流会の内容：

- ・3年生の男子がパワーポイントで恩名村と安富祖中学校を紹介した。
- ・歓迎セレモニーでは、華やかな紅型衣装を身にまとった生徒さん達が琉球舞踊の“四ツ竹”を披露した。
- ・留学生がそれぞれ自分の国の代表的な花や鳥、動物、山、食物などの紹介をした。
- ・中学生とゲームやダンスを一緒に楽しんだ。

引率者のコメント：

中学校全体で大歓迎を受け、留学生も感動していた。恩納村から特別に送迎バスも出していただき、遠方ながら快適で有意義な交流会となった。



4．西原町立坂田小学校4年生との交流会

日時：2008年7月1日（火）

場所：西原町立坂田小学校

参加者：4年生と日本語研修コース（第20期）11名（スリランカ、パラオ、ネパール、ベトナム、中国、アルゼンチン、インドネシア、バングラデシュ）

交流会の内容：

- ・留学生が出身国の食文化やスポーツ、遊びなどを紹介した。
- ・生徒達は国の位置や文化の違いに興味を持ち、活発に質問した。

引率者のコメント：

前半に少し、4年生全体との交流の時間があったが、主に4年生の4組との交流会であった。大勢に囲まれている時よりも留学生もリラックスしていたようだ。

